事業番号③	事業シート(概要説明書)	令和7年度					
事業名	猿橋駅周辺基盤整備事業						
予算事業名(細々目)	猿橋駅周辺基盤整備事業						
施策の大綱	美しく便利で快適なまち	事業開始年度	平成29年度				
施策体系	暮らしやすい都市空間の整備	部 名	総務部				
主要施策	計画的な市街地の整備	課名	まちづくり創生課				
根拠法令等	都市再生特別措置法、都市計画法、道路法	担当名	まちづくり創生担当				
事務区分	■自治事務 □法定受託事務	作成者	望月龍路				

○事務事業の計画

$\overline{}$	事務事業の計画									
	実施の背景	近年のまちづくりでは、人口の急激な減少と高齢 快適な生活環境を実現し、財政面及び経済面におい な課題となっている。こうした中で、「おおつき創 ちづくり方針・全体構想に基づき、人口減少及び少 応じた持続可能な都市構造構築の実現に向けて、大 居住誘導区域及び都市機能誘導区域の設定、誘導施 によるまちづくりの方針等を示す「大月市立地適正 人口密度を維持する必要がある。	て持続可能な都市 生都市計画マスタ 子高齢化の進展に 月駅、猿橋駅を中 設の整備方針、公	経一対心共営プ応と交	を可能とすることが大きプラン」で示した将来のまずるため、本市の特性にする拠点地区において、 通ネットワークとの連携					
	目 的 (何をどうしたいのか)	「大月市立地適正化計画」で定めた猿橋駅周辺地区施工する駅前通り(県道猿橋停車場線)の整備、②整備、④基盤整備(駅前広場整備、民間活力による史・文化・自然を軸に、猿橋観光をバックアップし出、桂台地区も世代を超えた交流機会を創出するこ②賑わい拠点の誘致及び整備において、民間によ整備においても、令和にこにこ園が開園し、これら	賑わい拠点の誘致 土地の有効利用の 、猿橋地域の暮ら とで人口密度を維 る商業施設が開店	及推し持し	『整備、③子育て支援施設』)を整備することで、歴 ☆支える賑わいの核を創 る。 ☆おり、③子育て支援施設					
	対 象 (誰・何を対象に)	・大月市全体対象者数 (全住民に対する 21,000 人 (100								
	実施方法	■直接実施								
		□業務委託 又は □指定管理 (委託先又は指定管理者:)								
		□補助金〔直接・間接〕(補助先:)							
		□貸付(貸付先:)□その)							
		事業内容(箇条書き)	事業費		活動指標					
事業概要	事業内容 ^(手段、手法など)	猿橋駅北口駅前広場整備	400, 000 (R5~R9継続)	千円	計画策定 用地買収 駅前広場整備					
女		賑わい拠点の誘致・整備	_	_	工場跡地に民間活力によ る商業施設等の誘致					
		子育て支援施設整備	_	_	桂台地区、駅周辺の子育 て世代を支援するため、 駅直近に子育て支援施設 の整備					
	関連事業 (同一目的事業等)	駅前通り線(県道猿橋停車場線)の整備(山梨	 県施行)							

○事務事業の取組

			17 年	度(予算	算)	令和	16 年	度(決算	<u>[</u>)	令和	口5 左	F度(決	算)	令和	14 年	F度(決	:算)	
		事業費合計			25, 8	80	千円			10, 689	千円			0	千円			4, 990	千円
	事 業	***				支	を出内	容			経費			₹	を出内	容			経費
	業	事業費内訳 (令和6年度					冷トイし			2,824千円									
	費	分) 分)	猿橋駅	北口	駅前広	場須	実施設計	業務委	託	7,865千円									
ス																			
	人件費	正職員	0. 7	人	4, 7	71	千円	0. 7	人	4, 771	千円	0. 5	人	3, 431	千円	0. 5	人	3, 447	千円
		会計年度任用職員		人		0	千円		人	0	円	0. 2	人	476	千円	0. 2	人	476	千円
		人件費合計	0. 7	人	4, 7	71	千円	0. 7	人	4, 771	千円	0. 7	人	3, 907	千円	0. 7	人	3, 923	千円
		総事業費			30, 6	51	千円			15, 460	千円			3, 907	千円			8, 913	千円

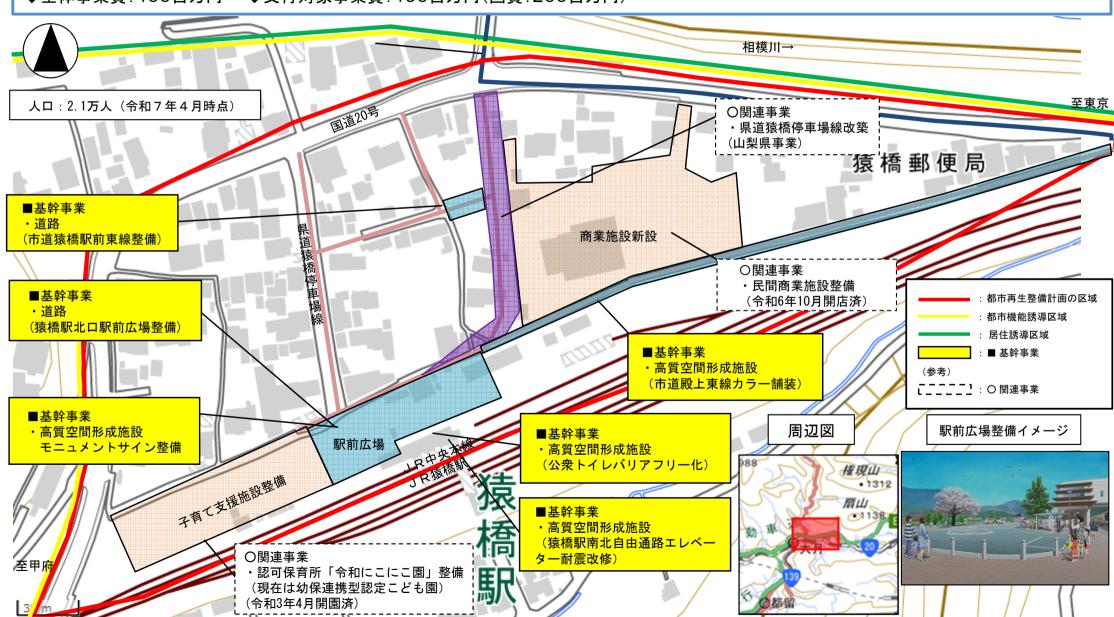
		国県支出金	11, 000	千円	5, 344	千円		0	千円		203	千円
			国県支出金の内容	了 都市	ī構造再編集中支援事	業				-		
	財源	地方債	9, 800	千円	4, 800	千円		0	千円		0	千円
		その他特財	4, 700	千円	0	千円		0	千円		4, 787	千円
	内訳	ての他特別	その他特財の内容	字 公夫	共施設整備基金繰 刀	金						
		一般財源	5, 151	千円	5, 316	千円		3, 907	千円		3, 923	千円
		財源合計	30, 651	千円	15, 460	千円		3, 907	千円		8, 913	千円
			【活動指標名	】(実	€績値/目標値)	単位	立	令和6 年度	令和	15 年度	令和4	年度
			北口駅前広場整備					令和4年度に予備計画を策定 令和6年度に実施計画を策定				
-		T =1 +5 /=	賑わい拠点の誘致・整備					令和6年度に民間による商業施設が開店				
事業実績		活動実績	子育て支援施設整備					令和3年に令和にこにこ園が開園				
美績												
	単位	立当たりコスト		/								

○事務事業の評価

事	成果目標 (指標設定理由等)	令和2年の猿橋駅周辺地区人口密度(11 し、若者世代、子育て世代の居住誘導を図 目標設定とした。				
業成		【成果指標名】(実績値/目標値)	単位	令和6 年度	令和5 年度	令和4 年度
果		猿橋駅周辺地区(猿橋、殿上)の人口密度	人/ha	10.8	11.0	11.1
	成果	※参考				
	(目標達成状況)	歴史・文化・自然を軸に、猿橋観光をバックアップし 目安として、猿橋駅の一日平均乗車人員(内定期タ			える賑わいの核	を創出を図る
		猿橋駅一日平均乗車人員 【一日平均乗車人員(定期外)】	人/日	-	964(271)	923(240)
		猿橋駅の乗車人員(定期外)は、僅かであるが増加 つつある。	傾向に	あることから、猿	橋地区の賑わい	が活性化され
(事	自己評価 課題 今後の方針 業の有効性、効率性、必 要性の観点)	猿橋駅周辺地区では、人口減少及び高齢「大月市立地適正化計画」に基づいた基盤の人口密度の維持に努めている。また、本計画で定めた「賑わい拠点の誘ては、目標を達成しており、今後は、駅前し、地区の住民や企業に対し、説明会や個前広場は一体的に整備する必要があるため	整 致通別、	民間による 開 整備」 強調を で 様の で 様の で 様の で 様の で 様の で 様の を 整 を 変 を 変 を 変 を 変 を 変 を 変 を 変 を 変 を 変	発を進めるこ 育事場がを で は の 変 の 変 の の の の の の の の の の の の の の の	とで、本地区 整備」におい に は は も に 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、
	比較参考値 (類似事業例など)	〇駅前広場整備 ・整備内容 四方津駅前広場 ・事業費 1.41億円 ・補助		面積1,060㎡) 社会資本整備総	事業主体 上野 合交付金(国費	
	特記事項					

猿橋駅周辺基盤整備事業

- ◆事業概要:県道猿橋停車場線や駅前広場を整備することで、猿橋駅やこども園など各種都市的サービス施設の利用者と地区住民にとって、安全性 や利便性が高まり、賑わいと温かさのあるまちを目指す。
- ◆事業主体:大月市 ◆面積:5.4ha ◆交付期間:令和5年度~令和9年度 ◆立地適正化計画公表時期:令和5年4月(変更)
- ◆全体事業費:400百万円 ◆交付対象事業費:400百万円(国費:200百万円)



◆歴史・文化・自然を軸に、猿橋観光をバックアップし、猿橋地域の暮らしを支える賑わいの核を創出。桂台地区では方向転換による世代を超えた交流機会を創出。

